

1. 科目名(単位数)	米文学(作家・作品論) (2単位)	3. 科目番号	EDEN3319
2. 授業担当教員	山口 敬雄		
4. 授業形態	講義、発表、ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>この授業では、アメリカ文学の歴史的な主潮を概観し、アメリカ文学の主要作家と作品を考察するとともに、各々の作家とその作品の時間的・空間的特徴および文化的背景をも明らかにして、今日の国際化社会で不可欠のグローバルな視野を広げることを目的とする。また、各主要作家の主要作品の名場面あるいは名文の一部を読んで、作品の真髄に触れ、名作や古典と呼ばれる所以を知ることができるようにする。</p> <p>文学の歴史的考察は、文化史的視点とも重なり合い、密接に関連しあう側面を有している。その意味では、「米文学(作家・作品論)」は「異文化理解」を補完し、深化させる役割をも果たしているといえる。</p>		
8. 学習目標	<p>1: 米文学作品における英語表現を精読することができる。</p> <p>2: 英文法・構文の知識を確実に修得し、長文を読み通すことができる。</p> <p>3: アメリカ文学の全体像と各作家・作品の特徴を分析し考察して、その成果をまとめて発表できるようになることに加え、自らの意見をレポートにまとめることもできるようになる。</p>		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>1. 英語長文の基本的な構文と特殊構文(倒置、強調構文、省略等)を総点検するための練習問題を毎週課す。学習方法や課題の提出方法等については、初回に詳しく説明する。</p> <p>2. 学習したことに対して自分の意見を持つことが大切なので、アメリカ文学から何を感じ、何を得たかについて自己の見解をレポート(2,000字程度)にまとめて提出すること。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 プリントを使用する</p> <p>【参考書】 板橋好枝・高田賢一編著『はじめて学ぶ アメリカ文学史』ミネルヴァ書房。 大橋健三郎・斉藤光・大橋吉之輔『総説アメリカ文学史』研究社。 福田昇八『イギリス・アメリカ文学史』南雲堂。 井上謙治『アメリカ小説入門』研究社。 その他、適宜授業で指示する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. アメリカ文学の全体像と各作家・作品の特徴を分析し考察して、その成果をまとめて発表し、自らの意見をレポートにまとめることもできるようになったか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>レポート 30% 発表 30% 小テスト 20% 受講態度・参加姿勢 20%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>この科目は、発表、ディスカッション、レポートの作成に重点を置いて、アメリカ文学の修得を目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を順守すること。</p> <p>1. 授業中は、常に高い緊張感と集中力を保ち、積極的な態度で受講すること。</p> <p>2. 理解できないことをそのままにしておかないで、自ら進んで質問すること。</p> <p>3. 授業の欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合には、その理由を必ず教員に報告すること。</p> <p>4. 明らかに授業態度が悪いと判断された場合には、厳格な指導を行う。</p> <p>5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作は絶対にしないこと。</p> <p>教員は以下のことを実行する。</p> <p>1. 授業の目的や目標を明確にする。</p> <p>2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話をするとともに、専門用語はわかりやすく説明する。</p> <p>3. 学生が積極的に授業に参加できる学習環境をつくる。</p> <p>4. 遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合には、厳格に対処する。</p>		
13. オフィスアワー	初回にアナウンスする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション：アメリカ文学の概観、発表の仕方とまとめ方	事前学習	米文学に関して知っていることを発表できるようにまとめておく。
		事後学習	米文学の流れのポイント、発表の仕方とまとめ方を確認する。
第2回	初期のアメリカ文学：ピューリタニズムの文学	事前学習	プリントのブラッドストリート、テイラーを読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第3回	国民文学の創成：アメリカ・ゴシックのはじまり、ニッカーボッカー派の作家と作品	事前学習	プリントのブラウン、クーパー、アーヴィングを読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第4回	国民文学の成熟：アメリカン・ルネッサンス期の作家と作品	事前学習	プリントのポー、ホーソン、メルヴィルを読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。

第5回	アメリカン・リアリズムの確立：南北戦争後のリアリズムの作家と作品	事前学習	プリントのトウエイン、ジェイムズを読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第6回	自然主義の文学：自然主義の作家と作品、地方色の作家と作品	事前学習	プリントのクレイン、プリズ、ロンドン、ドライサーを読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第7回	ロスト・ジェネレーションの文学：第1次世界大戦後の失われた世代の作家と作品	事前学習	プリントのフィッツジェラルド、フォークナー、ヘミングウェイを読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第8回	社会参加の文学：社会小説の作家と作品	事前学習	プリントのウルフ、スタインベックを読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第9回	第2次世界大戦後の文学：戦争小説と南部の小説の作家と作品	事前学習	プリントのメイラー、カポーティを読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第10回	エスニックの文学：アフロ・アメリカンの作家と作品、ユダヤ系の作家と作品	事前学習	プリントのライト、ウォーカー、ペロウを読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第11回	ニューヨーカー派の文学：『ニューヨーカー』誌から生まれた作家と作品	事前学習	プリントのサリンジャー、アップダイクを読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第12回	ビート・ジェネレーションの文学：ビート・ジェネレーションの作家と作品、亡命・国外離脱の作家と作品	事前学習	プリントのキーザー、ナバコフを読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第13回	ポストモダニズムの文学：前衛・実験的な作家と作品	事前学習	プリントのバース、ヴォネガット、パーセルミを読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第14回	ミニマリズムの文学：ニュー・リアリズムの作家と作品	事前学習	プリントのカーヴァー、ビーティ、メイソンを読み込んで、疑問点を調べておく。
		事後学習	プリントを読み返し、誤解、理解不足を正し、疑問点を明らかにして、理解を深める。
第15回	まとめ、レポートを書くための要点と諸注意	事前学習	プリントと参考書の必要な箇所を読み、レポートを書く準備をする。
		事後学習	レポートを書く要点と諸注意を確認して、レポートを書き進める。